

環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	2MF-2402
研究課題名	サステナブルファイナンスの拡大とインパクトに関する研究：気候変動と生物多様性に焦点をあてて
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	慶應義塾大学
研究代表者名	森田香菜子

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

サステナブルファイナンスに関して、文献レビュー、インタビュー、アンケート調査、定量分析の基盤整備など、研究計画に沿って着実に成果を上げている。研究のアウトプットイメージもわかりやすい。気候変動（緩和・適応）と生物多様性の両分野を対象とする意欲的な研究内容は高く評価できる。環境政策上も重要である。ESG（環境・社会・ガバナンス関連）に関連する否定的な経験の質問だけでなく、肯定的な経験の調査も検討してほしい。生物多様性の評価の指標については、今後この分野の専門家との対話が必要である。トランプ政権誕生のサステナブルファイナンスのあり方へのインパクトも考慮してほしい。サブテーマ2での機関投資家などへの個別インタビューでは、手の内を明かした回答や本音であることを見極めるため、複数回答の照合など何らかの手続きが必要ではないだろうか。グリーンウォッシュ対策、国際整合性、実効性の確保にも道筋をつけてほしい。よりいっそうの研究成果の公開（査読付き論文など）を期待する。